

平成 29 年度
学校関係者評価報告書

平成 30 年 7 月

学校法人八文字学園



水戸電子専門学校

◆平成 29 年度 学校関係者評価報告書

学校法人八文字学園水戸電子専門学校は、学校評価に関する関連法令等に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、「平成 29 年度自己点検評価報告書」（平成 30 年 2 月作成）を基本にした学校関係者評価を実施しましたので、下記の通り報告します。自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価をおこなっていただき、自己評価結果の客観性・透明性を高める努力をします。並びに卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野の関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局と密接に関係する方々の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ります。

今後とも、この学校関係者評価の結果を踏まえ、学校関係者と連携・協力し、更なる教育の質の向上を図ってまいります。

1. 対象期間 平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

2. 学校関係者評価の項目（以下の 11 項目）

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

3. 学校関係者評価委員

中井 英一	茨城大学理学部教授
島田 裕之	茨城大学教育学部教授
掛田 達也	一般社団法人 茨城県情報サービス産業協会 理事（卒業生）
富田 由紀夫	アイエンジニアリング株式会社 代表取締役社長（2018.7 現在）
武井 篤	株式会社 新日東 営業部
坂 大樹	茨城県デザイン振興協議会 副会長
小澤 賢侍	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部 セクションチーフ
三瓶 哲也	J P C株式会社 代表取締役
広木 公	株式会社 近宣 水戸支店 支店長（卒業生）
佐藤 有宣	佐藤畳店（地域住民）
川上 典夫	川上陶器店（地域住民）
荻野 雅子	J P C株式会社（卒業生）
山田 真起子	介護福祉士（地域住民）

八文字学園教員

八文字和宏 助川正己 相田慎介 橋本克之 平松浩幸 倉橋一昭 佐々木英宣

4. 学校関係者評価について

1. 学校関係者評価委員会の実施状況

1) 学校関係者評価委員会実施日時・場所

日時：平成30年3月26日(月)

場所：八文字学園 水戸看護福祉専門学校 3F 視聴覚室

2) 学校関係者評価委員会 進行状況

(1) 事務連絡(挨拶、配布資料確認)

(2) 理事長挨拶

学校関係者評価全体説明

(3) 評価方法説明

(4) 議長(委員長)選出

(5) 学校関係者評価委員会開始

自己評価結果の解説とその評価 … 評価結果の判定(評価シート記入)

○教育重点項目

○教育理念・目的・育成人材等

○学校運営

○教育活動

○学修成果

○学生の募集と受入れ

○財務

○社会貢献

○国際交流

(6) 学校関係者評価の総評と意見交換

2. 学校関係者評価(自己評価結果)の評価の仕方

専修学校における学校評価ガイドライン』に則って、平成29年度における「評価項目の達成及び取組状況」について、委員会では、委員により、自己評価報告書 の内容及び、自己評価結果を理解していただいた上で、評価ポイント(適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)の4分法にて評価を行なっていただき、その理由や意見を「学校関係者評価委員会 評価記入シート」のコメント欄に記載しました。最後に、評価項目や学校・学科の改善に関する学校関係者委員の自由意見を聴取しました。1～11の項目評価は、委員の評価の平均値となります。

3. 学校関係者評価報告書の見方

1. 自己評価結果の結果集計

学校関係者評価委員 8名が記述した評価記入シートより、評価基準の「適切」記入数、「不適切」記入数を集計しパーセント表示した。

2. 委員コメント

評価記入シートの委員コメント欄に、学校関係者評価委員が直接記入したコメントを項目毎にまとめた。

3. 分科会の意見

分科会で意見交換された内容や、具体的な学科に対する意見・改善提案を議事録「学校関係者評価委員会分野別分科会」にまとめた。

◆ 1 教育理念・目的 3.88 評価

1. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
2. 学校における職業教育の特色を示しているか
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
4. 学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
5. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
6. 各学科の基本方針、学習目標、資格の合格目標は達成されているか

<コメント>

- ・教育理念・目的が明確に定められ、わかりやすい表現で具体的に示されており、評価できる。
- ・やはり、社会人として必要な人間力の育成は重要です。
- ・実践的な職業教育を行う、新たな高等教育機関の制度化の中で、中長期的構想をぜひ立てていただきたいです。

◆ 2 学校運営 2.75 評価

1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか
2. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
3. 運営組織や意識決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
4. 人事、給与に関する制度等は整備されているか
5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
7. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

<コメント>

- ・事業計画に基づいて、教育目標の実現を目指した学校運営がなされていると判断できます。
- ・人事、給与に関する制度等の評価基準が不明瞭です。
- ・職員の PC について ネットワーク環境やセキュリティ、アクセス権の設定についてはどうなっているのですか。

◆ 3 教育活動 3.63 評価

1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
3. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
5. 関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
6. 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか
8. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

10. 資格取得等の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
11. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
12. 関連分野における業界等と連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか
13. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や指導力育成など、教員の資質向上のための取組が行われているか
14. 職員の能力開発のための研修等が行われているか

<コメント>

- ・積極的に新しい技術を取り入れている努力が窺えます。
- ・卒業研究の成果を公開して(学外)評価してもらうことも必要です。
- ・デザイン制作については学生の実績や満足度を鑑みて、また教育効果から考えても完成まで制作してもらいたいです。
- ・教員の研究研修を行うためのシステムを整備すべきです。
- ・学生の二極化について、学生のレベルや資質に対して丁寧に対応していると点については、学生個々に合わせた指導が適切に実行されていると感じました。
- ・資格については、学科ごと目標資格が明確に定られており、組織的な指導体制の下、引き続き教育方法の研究をしながら、よりよい結果を出して行く様にしてほしいです。

◆ 4 学修成果 3.38 評価

-
1. 就職率の向上が図られているか
 2. 資格取得率の向上が図られているか
 3. 退学率の低減が図られているか
 4. 卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか
 5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

<コメント>

- ・学生の就職率は情報処理分野がほぼ大半を占めているようです。
- ・情報処理の国家試験対策については、午前免除制度を利用し、十分な対策時間をとっているようなので、基本情報技術者の合格率の向上を期待したいです。
- ・卒業生の現状把握については、OB/OG 会を通して、意見や評価を少しでも把握することで教育改善に活かしていただきたい。
- ・退学率の低減の具体的な努力目標と具体策をお教えいただきたい。

◆ 5 学生支援 3.38 評価

-
1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
 2. 学生相談に関する体制は整備されているか
 3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
 4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
 5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか
 6. 学生の生活環境への支援は行われているか

- 7.保護者と適切に連携しているか
- 8.卒業生への支援体制はあるか
- 9.社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 10.高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

<コメント>

- ・奨学金を利用する学生の割合は 1/3 を占めており、かなり高い比率となっております。
- ・学生支援機構の奨学生制度を利用する学生の返済額の多さに対応する是正措置は講じているのでしょうか。
- ・学生への健康面への支援体制として、定期的な結核健康診断制度があり、毎年実施されており、学園姉妹校には看護師が常勤しており、必要に応じて健康相談できる体制が整っている点が良い。

◆ 6 教育環境 3.25 評価

- 1.施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 2.学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか
- 3.学生が自主的に学習するための環境が整備されているか
- 4.防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか

<コメント>

- ・学校の教育設備、施設に関しては、定期的に機器等を確認し教育内容に沿って整えられています。
- ・新しい技術・メディアセンター施設・自習室や教育機器設備を導入してもらいたいで検討していただきたいです。
- ・災害時の心構え・命をまもる行動など防災教育や地震等の災害対策として、定期的な防災訓練、被災時の水・食料の備蓄等も進めていただきたいです。

◆ 7 学生の受け入れ募集 3.38 評価

- 1.学生募集活動は、適正に行われているか
- 2.学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 3.学納金は妥当なものとなっているか中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

<コメント>

- ・学生の募集広報活動における内容や説明表現については、真実性、透明性、公平性、法令遵守において、担当の広報部が十分な注意を払うとともに、入学希望者に対して分かりやすく最新で、適切な判断材料が提供されるように配慮されています。
- ・定員の充足率については、情報メディア学科については定員割れを起こしているがどのような広報活動を行っているのか。
- ・オープンキャンパスやバス見学会、高校ガイダンスなど非常に多い回数を計上しているが効果はあるのですか。

◆ 8 財務 3.5 評価

- 1.中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 2.予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 3.財務について会計監査が適正に行われているか

4.財務情報公開の体制整備はできているか

<コメント>

- ・財務諸表を拝見すると、現在、安定した財務基盤のようです。
- ・監査法人の監査や内部監査が適正に行われており評価できます。

◆ 9 法令等の遵守

3.5 評価

- 1.法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 2.個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか
- 3.自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- 4.自己評価結果を公開しているか

<コメント>

- ・法令や設置基準の遵守については適正に行われており、また、個人情報の保護については、「個人情報管理規定」が策定され、個人情報の適正な管理運用に努められている。今後もより一層対策を強化し、個人情報の保護に留意していただきたいです。
- ・自己評価結果についても、適切に公開しています。

◆ 10 社会貢献・地域貢献

3.25 評価

- 1.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 2.学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 3.地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

<コメント>

- ・奉仕の精神、道徳心を養うことを目的に学校周辺の清掃活動が定期的に行われており、積極的に地域の良い環境づくりにかかわりを持っていただきたい。
- ・ボランティア活動は、学生が個別に実施しているようですが、組織的な取り組みはできないのでしょうか。

◆ 11 国際交流

（・留学生の受け入れは、行ってないし、国際的に提携している学校もありません。）

◇学校関係者評価委員会 まとめ 総合評価 3.39

学校関係者の評価の実施、公表により、適切に説明責任を果たすとともに、関係する企業、業界団体、卒業生、保護者、地域住民による理解と参画を得ながら、企業、業界団体、卒業生、保護者、地域住民の連携協力による学校づくりを進めていきます。

また、自己評価結果の客観性、透明性を高め、学校として目指すべき重点目標を設定し、その達成に向けた取組の適切さ等を評価することにより、組織的、継続的に学校運営を改善していきます。

委員会につきましては、自己点検、評価結果の説明の後、委員の方々により評価していただき、各委員からの貴重なご意見、ご要望を真摯に受けとめるとともに、検討・改善し今後の教育活動に生かしていきたいと思います。

今後、社会のニーズに答えられる学生指導と教育の質の保証と向上を目指し、教職員一同邁進して参ります。

学校法人八文字学園 水戸電子専門学校
〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-11-20
